

＜地域ネットワーク部会：平成 23 年度事業計画の評価＞

1. **がん診療を行っている医療機関には診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では、患者調査を行い実態を明らかにする。**

目 標：2011 年 9 月までに医療機能調査アンケートを作成する。調査日程については、県と調整。

実 績：沖縄県と共同で「沖縄県医療機能調査」の調査項目と医療機関を選定するための基準を作成するため、5 大がんの各ワーキンググループで作成中である。現在、大腸癌と肺癌が完成した。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：4 点
2. **拠点病院に難治がんや稀少がんの対応状況に関するアンケート調査を行う。**

目 標：2012 年 3 月までにアンケートを作成する。

実 績：協議未実施

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：0 点
3. **医療機関の機能・役割分担を促進させるため、私のカルテのチラシを作成し広報する。**

目 標：2012 年 3 月までにがん診療を行っている 106 施設に配布する

実 績：地域ネットワーク部会で、私のカルテのチラシを作成した。2012 年 3 月までに沖縄県におけるがん診療を行っている医療機関に配布する予定。

予 算：24,200 琉大予算額：24,200 琉大執行額：なし

実 績：6 点
4. **がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。**

目 標：2012 年 3 月までに 7 回、院内又は地域の医療機関向けに研修会を行う。

実 績：浦添市医師会と共同で、浦添市の地域の医療機関向けに「5 大がん地域連携クリティカルパス研修会」を実施した。

予 算：381,400 琉大予算額：126,400 琉大執行額：なし

評 価：2 点
5. **新たな疾患のパスの作成。**

目 標：2012 年 3 月までに子宮がん地域連携パスを作成する

実 績：2012 年 1 月に子宮癌地域連携クリティカルパス作成WGを設置した。3 月までに子宮癌地域連携パスが完成予定。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：3 点
6. **乳がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。**

目 標：2012 年 3 月までに 30 人、2013 年 3 月までに 130 人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実 績：3 拠点病院合計で 37 人適用した。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：10 点

7. 胃がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

目標：2012年3月までに30人、2013年3月までに130人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実績：3拠点病院合計で8人適用した。

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：3点

8. 肺がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

目標：2012年3月までに30人、2013年3月までに130人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実績：3拠点病院合計で5人適用した。

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：2点

9. 肝がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

目標：2012年3月までに30人、2013年3月までに130人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実績：3拠点病院合計で2人適用した。

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：1点

10. 大腸がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

目標：2012年3月までに30人、2013年3月までに130人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実績：3拠点病院合計で21人適用した。

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：7点

11. 前立腺がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

目標：2012年3月までに30人、2013年3月までに130人 沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する。

実績：前立腺がん地域連携クリティカルパスを作成し、運用を開始した。

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：6点

12. 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

目標：医療マネジメント学会、第12回日本クリティカルパス学会、谷水班に参加する。

実績：医療マネジメント学会、第12回日本クリティカルパス学会に参加した。

予算：404,000 琉大予算額：404,000 琉大執行額：423,000

評価：6点

平成23年度第5回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時：平成24年1月11日（水） 18:00～19:30

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：9名

出席者：5名

佐村 博範（琉大病院）、宮里 浩（那覇市立病院）、下地 英明（琉大病院）、増田 昌人（琉大病院）、仲本 奈々（琉大病院）

陪席者：呉屋 葉子（琉大病院がんセンター）

[協議事項]

1. 地域連携クリティカルパス適用数の目標設定について

⇒ 現在のところ各施設での地域連携クリティカルパスの適用数が伸び悩んでいるため、地域ネットワーク部会では全体の数値目標は設定せず、まずは各施設内で目標設定を行い、適用数の増加に努めることとなった。

2. 新たなパスの作成について

⇒ 運用が増えてきたところで利用者から意見聴取を行い、要望があれば各疾患の作成WGで作成し、運用WGにメーリングで、追加・修正などないか意見を求めることとなった。

3. 他のがん種のパスの作成について

⇒ 新たなパスと同様に、運用が増えてきたところで利用者から意見聴取を行い、要望があれば各疾患の作成WGで作成し、運用WGにメーリングで、追加・修正などないか意見を求めることとなった。

4. 医療機能調査のアンケート（案）について

⇒ 医療機能調査アンケート（案）について、アンケートは選定基準を念頭に入れて作成することとし、胃がんの医療機能調査アンケート（案）については、胃がん作成WGを開催し作成することとなった。5大がんすべてのアンケート（案）が完成後、運用WGのメーリングで回覧し、確認・修正等を行うこととなった。

5. 医療機能調査の選定基準について（資料5）

⇒ 沖縄県ががん診療に関する専門施設や標準施設を選定するための基準を地域ネットワーク部会、作成WGおよび運用WGで作成することが再確認された。選定医療機能調査の選定基準は、症例数、医療の質を重視することとし、すでに事務局で作成した、各疾患の選定基準を各疾患の作成WGと運用WGにメーリングで、追加・修正などないか意見を求めることとなった。

6. 平成23年度第2回がん地域連携クリティカルパス運用ワーキンググループ協議事項について

⇒ パスの進展がないため今回の開催は見送りとすることとなった。

但し、年度末であることから、各施設のパス適用実績や今年度の取り組みなどをまとめた報告書を作成し、運用WGメンバーにメーリングで報告することとなった。医療機能調査アンケート（案）についても同様とする。

7. 平成23年度事業計画の評価について

⇒ 平成23年度事業計画の評価については、事務局で評価を行い、地域ネットワーク部会委員にメーリングで報告し、意見を求めることとなった。

8. 平成24年度の事業計画について

⇒ 平成24年度の事業計画について、以下の項目を追加してはどうかと意見があった。

- ・拠点病院ごとの評価を行い、運用を強化する。
- ・各医療施設にパスを使いたいアンケートをとる。

9. 平成24年度の事業計画の予算（案）について

⇒平成24年度の事業計画の予算（案）については、今年度の予算と同様とすることとなった。

10. 部会・WGの開催回数

⇒ 部会とWGの開催について、年6回（2ヵ月に1回）から、年4回（3ヵ月に1回）の開催に変更することが承認された。

11. 次回の開催日程について

⇒ 次回は4月に行われることが決定した。

12. その他

⇒ 琉大病院に関しては、第一外科でクリティカルパスの院内研修会を行うこととなった。